

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ミッション

いつまでも、この「おいしい」を楽しめる社会へ。世界中の人々が多種多様で高品質な「おいしい」を自由に選択できる社会を目指す。

② 中長期の経営戦略

1. M&Aによるグループ企業の増加

事業承継問題や単独成長に課題を抱える企業をM&A子会社化。経営支援やシナジー創出でグループ全体の相乗的成長を実現。

2. プラットフォームの強化

中小企業支援プラットフォームを強化。販路・生産管理手法・商品開発ノウハウを共有し、グループ全体で経営効率化と成長を実現。

3. 海外市場への展開

シンガポール地域統括会社を中心にアジア市場へ展開。グループ商品の海外販売強化と海外販路構築、M&Aで規模拡大。

4. 内部統制・コンプライアンス強化

企業倫理と法令遵守を経営の根幹に。社内研修強化、内部通報制度整備、モニタリング・監査強化で透明性と健全性確保。

③ 対処すべき課題

① 経営環境の厳しさ

- ・ 原材料費・エネルギー価格の高止まり、物流費・人件費上昇、労働力確保困難
- ・ 消費者の節約志向強まり、中小食品企業の後継者不在と廃業増加

② 国内市場の縮小対応

- ・ 少子高齢化で国内食品市場縮小が予想される中での成長戦略必須

③ グループの持続的成長実現

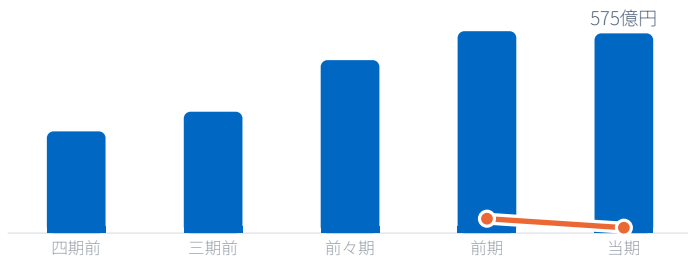
- ・ 先行き不透明な環境で中長期企業価値向上と持続的成長の両立
- ・ 地政学的リスク、為替変動、世界的物価上昇圧力への対応

面接で使えるポイント

- ・ シンガポール地域統括会社を中心にアジア市場展開する中で、「おいしい」の世界への供給に関わりたい志向。
- ・ 中小企業支援プラットフォームを通じ、地域経済活性化と企業の再成長を支援する事業に共感できるか。
- ・ M&Aによるグループ企業増加とシナジー創出の過程で、複数企業の経営課題解決に貢献したい関心。

証券コード 2884

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
575億円営業利益率
2.7%財務健康度
40点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 58.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
911万円
食料品内 9位/120社平均年齢
46.6歳
食料品内 5位/121社平均勤続
6.6年
食料品内 110位/121社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 野村證券株式会社が株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス

